

# 高齢者の潜在的居住支援ニーズと住まいのマッチングのための「見える化」プロセス

## I 高齢者世帯の概況把握

0・地域概要(人口、世帯数) 平成27年国勢調査

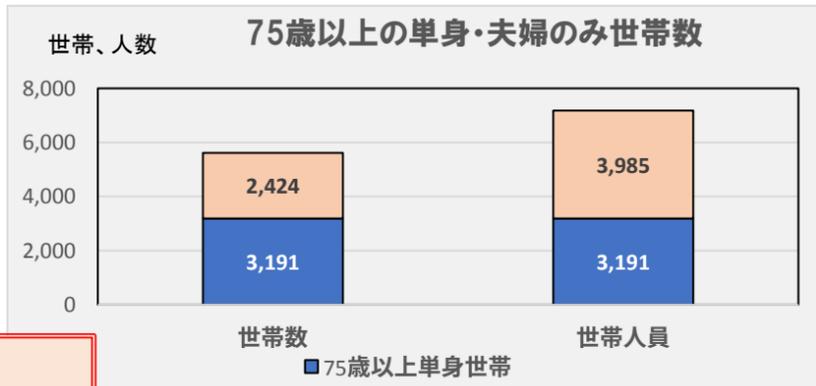
	総数	65歳以上	75歳以上
人口	124,062人	34,914人	18,466人
世帯数	49,322世帯	22,829世帯	13,161世帯

65歳以上世帯人員のいる世帯 75歳以上世帯人員のいる世帯

Focus① 高齢者単身・夫婦のみ世帯(平成27年国勢調査より)

	世帯数	世帯人員
65歳以上単身世帯	5,794	5,794
65歳以上夫婦のみ世帯	5,414	9,803
計	11,208	15,597
75歳以上単身世帯	<b>3,191</b>	<b>3,191</b>
75歳以上夫婦のみ世帯	<b>2,424</b>	<b>3,985</b>
計	<b>5,615</b>	<b>7,176</b>

※世帯数：65歳以上、75歳以上の世帯員がいる世帯  
 ※世帯人員：65歳以上、75歳以上の世帯人員



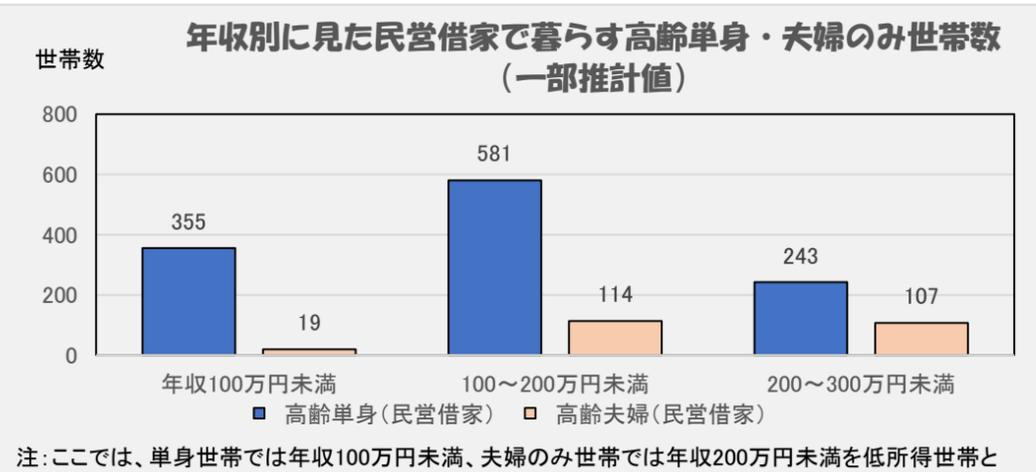
**Focus① 75歳以上の単身・夫婦のみ世帯**  
 潜在層を含めた要見守り世帯と想定される。

## II 潜在的な居住支援ニーズの把握

Focus②-1 潜在的な住宅確保要配慮の低所得高齢者世帯数(平成25年住宅・土地統計調査より、推計値)

	借家で暮らす高齢単身世帯・夫婦のみ世帯数	(内訳)			低所得世帯※	
		年収100万円未満 (=月収8万3千円未満)	100~200万円未満 (=月収16万6千円未満)	200~300万円未満 (=月収25万円未満)	世帯数	割合
<b>65歳以上単身世帯数</b>						
高齢単身(持ち家)	3,230	621	964	668	621	19.2%
高齢単身(借家)	2,390	737	897	378	737	30.8%
高齢単身(公営・都市再生機構(UR)・公社の借家)	930	399	321	111	399	42.9%
<b>高齢単身(民間借家)</b>	1,430	355	581	243	<b>355</b>	<b>24.8%</b>
高齢単身(給与住宅)	20	10	10	0	10	50.0%
<b>65歳以上夫婦のみ世帯数(参考)</b>						
高齢夫婦(持ち家)	4,080	184	716	1,420	900	22.1%
高齢夫婦(借家)	670	76	252	202	328	49.0%
高齢夫婦(公営の借家)	310	58	139	93	197	63.6%
高齢夫婦(都市再生機構(UR)・公社の借家)	0	0	0	0	0	-
<b>高齢夫婦(民間借家)</b>	360	19	114	107	<b>133</b>	<b>36.8%</b>
高齢夫婦(給与住宅)	0	0	0	0	0	-

※ここでは「低所得世帯」を下記の定義で分類  
 単身世帯：年収100万円(月収8万3千円)未満  
 夫婦のみ世帯：年収200万円(月収16万6千円)未満



**Focus②-1 潜在的な住宅確保要配慮者**  
 借家、特に民間借家で暮らす低所得の高齢世帯(特に単身世帯)は、潜

民間借家の低所得高齢者世帯数	
高齢単身世帯	355世帯
高齢夫婦のみ世帯	133世帯
計	488世帯

Focus②-2 老朽化した住宅で暮らす低所得高齢世帯数(推計値)

築50年以上経過した持ち家の割合	8.8%
------------------	------

※統計の区分上、昭和35年以前に建築された持ち家の割合を利用

**Focus②-2 老朽化住宅に居住する低所得高齢世帯**  
 老朽化した持ち家で暮らす低所得高齢者世帯は、早期に転居・住まい確

潜在的な居住支援ニーズの合計			
	持ち家※1	民間借家※2	計
高齢単身世帯	55	355	410
高齢夫婦のみ世帯	79	133	212
計	134	488	622

※1 持家低所得×築50年以上の割合  
 ※2 借家低所得世帯

この数値を参考に  
 各市町村の実情を踏まえ

## III 活用可能性のある賃貸住宅の把握

Focus③ 管内の「腐朽・破損なし」の賃貸用空き家戸数

腐朽・破損のない賃貸住宅戸数	4,580戸
----------------	--------

《比較》

**Focus③ 管内の有効な住宅資源の確認**